

## 第3学年2組 保健体育科 学習指導案

指導者 益田市立益田中学校 田原 俊 輔

### 1 単元名 球技（サッカー）

### 2 単元の目標

- (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の学習に自主的に取り組み、フェアなプレイを大切にすること、自己の責任を果たすことや、話合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 【関心・意欲・態度】
- (2) 自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫することができる。 【思考・判断】
- (3) 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開することができる。 【技能】
- (4) 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。 【知識・理解】

### 3 基盤

#### (1) 教材観

球技は、ゴール型、ネット型及びベースボール型などから構成され、個人やチームの能力に応じた作戦を立て、集団対集団、個人対個人で勝敗を競うことに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。小学校では、「ゲーム」と「ボール運動」で簡易化されたゲームでルールを工夫したり、チームの特徴に応じた作戦を立てたりして攻防を展開できるようにすることをねらいとした学習をしている。中学校では、これらの学習を受けて、基本的な技能や仲間と連携した動きを発展させて、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できるようにすることが求められる。サッカーでは、第1学年及び第2学年の「ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防を展開できるようにする」ことをねらいとした学習を受けて、第3学年においては、仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、空間を作りだしたりして攻防を展開できるようにすることをねらいとしている。

#### (2) 生徒観 ～省略～

#### (3) 指導観

指導にあたっては、仲間と連携した動きによってゴール前に空間を創り出してゴール前へと侵入する攻防を中心に、自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を立てて、失点の攻防を重視した練習やゲームを展開し、ボール操作とボールを持たないときの動きに着目させ、学習に取り組みさせることが大切であると考え。ボール遊び的要素のある『コーディネーション運動』や『場やルール』などの工夫を多く取り入れて、男女の技能や意欲の差を埋められるようにし、男女混成チームでのゲームが楽しくできるようにして

いきたい。また、連係プレーの中で実戦に生きる個人技能を高める。さらに、サッカーの経験や技能の差を乗り越えて、お互いのプレーがゲームの中で生きよう、空間を創り出す動きや、スペースを使う動きを意識させたい。そのために、次のような指導を行うことが重要だと考える。①練習の中で声だしをすることにより、ゲームの中で意思表示をする力をつけさせる。②ゲーム中のかけ声の内容の変化を見ることにより、戦術理解とチームワークを高めさせる。この2つのことを重視したい。

#### 4 単元の評価規準

| (1)運動への<br>関心・意欲・態度   | (2)運動についての<br>思考・判断  | (3)運動の技能   | (4)運動についての<br>知識・理解  |
|---|--|--|--|
| <p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②自己の責任を果たそうとしている。</p> <p>③互いに助け合い教え合おうとしている。</p> | <p>①提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</p> <p>②仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>③ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見つけている。</p> <p>④作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> | <p>・ゴール型では、ゴール前への侵入などから攻防を展開するための安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きができる。</p> <p>○安定したボール操作</p> <p>①守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。</p> <p>②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。</p> <p>○空間を作り出すなどの動き…③ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。④パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。⑤ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れることができる。</p> | <p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>②球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</p> <p>③運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>④試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> |

## 5 指導計画と評価計画（全12時間：本時7／12）

### （1）指導と評価計画

| 時間        | 学習のねらい  | おもな学習活動  | 評価規準（評価方法）  |
|-----------|---|--|---|
| 1         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ルールやポジションの名称、役割について既習内容を確認する。</li> <li>○学習に自主的に取り組もうとすることの重要性を理解する。</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリエンテーション</li> <li>・VTR学習</li> <li>・ルール説明</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>○技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>【知・理①】（ワークシート）</li> </ul>   |
| 2         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○2年次までに学習した内容を使って、サッカーに親しむ。</li> <li>○自己の責任を果たすことの重要性を理解する。</li> <li>○基本的なボール操作を確認する。</li> </ul>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○スキルテスト（リフティング・ドリブル・パス）</li> <li>○試しのゲームを行う（8対8）</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</li> <li>【関・意・態①】（観察）</li> </ul>  |
| 3         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○既習内容の確認（1対1～ボールの置き場所、姿勢や体の向き、試合の行い方）</li> <li>○基本的なボール操作を確認する。</li> <li>○ディフェンスのポジショニングについて理解する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○1対1</li> <li>○ラインゴールゲーム（4対4）</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>【知・理④】（ワークシート）</li> </ul>  |
| 4         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○既習内容の確認（1対1～ボールの置き場所、姿勢や体の向き、ボールキープ）</li> <li>○ドリブルとパスからプレーを選択できる。</li> <li>○基本的なボール操作を確認する。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○1対1</li> <li>○2対2</li> <li>○ラインゴールゲーム（4対4）</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>【関・意・態②】（観察）</li> <li>○ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。</li> <li>【技③】（観察）</li> </ul>         |
| 5         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○タイミングを合わせて狙った場所にボールをパスをする。</li> <li>○基本的なボール操作を確認する。</li> <li>○シュートをコントロールする。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○1対1（ゴール有）</li> <li>○2対2（ゴール有）</li> <li>○コーンゴールゲーム（4対4）</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。</li> <li>【技①】（観察）</li> </ul>   |
| 6         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○パスを受けることができる場所を見付ける。</li> <li>○球技に関連した体力の高め方を理解する。</li> <li>○空間を作り出す動きを見付ける。</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○パス&amp;コントロール</li> <li>○4対2</li> <li>○パスゲーム（10本つないたら1点）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。【技②】（観察）</li> <li>○球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>【知・理②】（ワークシート）</li> </ul> |
| 7<br>（本時） | <ul style="list-style-type: none"> <li>○空間を作り出したり、利用したり、そして、カバーする動きのポイントを見付ける。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○サッカー鬼ごっこ</li> <li>○コーンを使った陣取りゲーム</li> <li>○6ゴールゲーム</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見つけている。</li> <li>【思・判③】（観察・ワークシート）</li> </ul>                        |

|    |  |   |  |
|----|--|---|--|
| 8  | <p>○簡単にボールを失うことなく攻撃する。</p> <p>○お互いに助言したり、練習相手になって助け合う。</p>       | <p>○4対2</p> <p>○3対3+2フリーマン</p>                                      | <p>○パスを出した後に次のパスを受けることができる。</p> <p>【技④】（観察）</p>  |
| 9  | <p>○自己やチームの課題を見付け、有効な練習方法を選ぶ。</p> <p>○練習方法について指摘する。</p>          | <p>○チーム再編成<br/>（男女混合4チーム）</p> <p>○ハーフコートゲーム（8対8）</p> <p>○練習計画立案</p> | <p>○仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <p>【思・判②】（観察・ワークシート）</p>   |
| 10 | <p>○自己やチームの課題に応じた練習を行う。</p> <p>○作戦などについて話し合う。</p>                | <p>○練習計画に沿ったチーム練習</p> <p>○ハーフコートゲーム（8対8）</p>                        | <p>○作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見付けている。</p> <p>【思・判④】（観察・ワークシート）</p> <p>○互いに助け合おうとしている。</p> <p>【関・意・態③】（観察）</p>                            |
| 11 | <p>○自己やチーム、また相手チームの特徴を踏まえ、作戦や戦術を選ぶ。</p> <p>○運動観察の方法について理解する。</p> | <p>○ハーフコートゲーム（8対8）</p> <p>○作戦タイム</p> <p>○ハーフコートゲーム（8対8）</p>         | <p>○提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。</p> <p>【思・判①】（観察・ワークシート）</p> <p>○運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <p>【知・理③】（ワークシート）</p> |
| 12 | <p>○習得した技能・戦術を駆使して、ゲームをする。</p>                                   | <p>○チーム対抗リーグ戦</p> <p>○振り返り</p>                                      | <p>○ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れることができる。</p> <p>【技⑤】（観察）</p>  |

(2) 指導内容及び「学習活動に即した評価規準（第3学年 球技；サッカー）

| 運動への<br>関心・意欲態度   | 運動についての<br>思考・判断  | 運動の技能   | 運動についての<br>知識・理解  |
|---|---|---|---|
| <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 苦手な種目であっても、練習によって技術や体力を向上させることができる。そのことが勝敗を競う楽しさや喜びにつながり、仲間と連携しゲームが展開できる</li> </ul> <p>↓</p> <p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。<br/>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• チームを構成するメンバーの一人として、今できることを精一杯プレーできる。</li> </ul> <p>↓</p> <p>②自己の責任を果たそうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一人一人の力を結集し、チームとして課題解決を行うことができる。</li> </ul> <p>↓</p> <p>③互いに助け合い教え合おうとしている。</p> | <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• グループ学習やゲームの際に運動を観察し合い、より効果的な方法の提示。</li> </ul> <p>↓</p> <p>①提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。<br/>【評価規準】</p> <p>②仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボール操作やボールを持たないときの動きを提示。</li> </ul> <p>↓</p> <p>③ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見つけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• チームの一員として、自他の意見を肯定的に捉え、より良い意見を選択することができる場の設定。</li> </ul> <p>↓</p> <p>④作戦などの話合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見つけている。</p> | <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボールだけでなく、守備者の位置によって、ポジショニングや体の使い方を工夫することができる。</li> </ul> <p>↓</p> <p>①守備者とボールの間に自分の体を入れてボールをキープすることができる。<br/>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 足の様々な部位を使い、思い通りの場所にパスを送ることができる。</li> </ul> <p>↓</p> <p>②ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボールだけでなく、攻撃者の位置によって、ポジショニングを変えることができる。</li> </ul> <p>↓</p> <p>③ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• よりゴールに近いパスコースを見つけることができる。</li> </ul> <p>↓</p> <p>④パスを出した後に次のパスを受ける動きをすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ポジショニングを変えることによって、守備者のポジションを動かすことができる。</li> </ul> <p>↓</p> <p>⑤ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れることができる。</p> | <p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 様々なキックの種類や、守備を突破するための8つのアイデア（スルーパス、シュート、クロス、クロスオーバー、ワンツート、スイッチ、オーバーラップ、スルー）を使うこと。</li> <li>• パスした後は動き、空いている空間を、仲間と使い合うこと。</li> </ul> <p>↓</p> <p>①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。<br/>【評価規準】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゴール型では、持久力や筋力、敏捷性、巧緻性が型に求められること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>②球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ボールやゴール、味方・相手選手の位置、空いているスペース等にに応じて、選択すべきプレーが変化すること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>③運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ゲームのルールを理解し、審判や試合運営ができること。</li> </ul> <p>↓</p> <p>④試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。</p> |

(3) 学習過程と評価機会とその方法

| 次    | 第1次   |           | 第2次                                |               |              |                                  |              |                        |                       |                                 | 第3次                            |              |
|------|-------|-----------|------------------------------------|---------------|--------------|----------------------------------|--------------|------------------------|-----------------------|---------------------------------|--------------------------------|--------------|
|      | 1     | 2         | 3                                  | 4             | 5            | 6                                | 7            | 8                      | 9                     | 10                              | 11                             | 12           |
| 学習活動 | 10    | オリエンテーション | グラウンド準備・集合・整列・挨拶・授業のねらいや流れを確認・準備運動 |               |              |                                  |              |                        |                       |                                 |                                |              |
|      |       |           | リフティング・ボールタッチドリル                   |               |              |                                  |              |                        |                       |                                 |                                |              |
|      | 20    | スキルテスト    | さまざまな状況の1対1                        |               | サッカー<br>鬼ごっこ |                                  | ゲーム<br>(8対8) |                        | 練習<br>計画<br>沿った<br>練習 |                                 | ゲーム<br>(8対8)                   |              |
|      |       |           | 2対2                                |               | パスゲーム(4対2等)  |                                  | ゲーム<br>(8対8) |                        |                       |                                 | チーム<br>対抗<br>リーグ<br>戦<br>(8対8) |              |
|      | 30    | VTR学習     | 試しのゲーム                             | ラインゴール<br>ゲーム |              | コーンゴール<br>ゲーム<br>(5対5 Or<br>6対6) |              | コーンゴール<br>ゲーム<br>(8対8) |                       | 練習<br>計画<br>立案<br>↓<br>練習<br>実施 |                                | ゲーム<br>(8対8) |
|      |       |           |                                    |               |              |                                  |              |                        |                       | 作戦<br>タイム                       |                                |              |
| 40   | ルール学習 |           | 片づけ・グラウンド整備・全体のまとめ・挨拶              |               |              |                                  |              |                        |                       |                                 |                                |              |

|      |       |   |    |   |    |    |    |   |   |   |   |   |
|------|-------|---|----|---|----|----|----|---|---|---|---|---|
| 評価方法 | 関・意・態 | ① | ②① |   | ②  |    |    | ③ |   | ③ |   |   |
|      | 思・判   |   |    |   |    |    |    | ③ |   | ② | ④ | ① |
|      | 技能    |   |    | ③ | ①③ | ②① | ④② | ⑤ | ④ |   |   | ⑤ |
|      | 知・理   | ① |    | ④ |    |    | ②  |   |   |   |   | ③ |

※●指導機会 ○評価 (関心・意欲・態度、技能については、指導して一定期間おいてから評価する。)

6 本時の学習

(1) ねらい

○空間を創り出す動きや、空間を利用する動き、空間をカバーする動きのポイントを見つけることができる。【思考・判断】(観察・ワークシート)

(2) 準備 サッカーボール 20 球、三角コーン 24 本、マーカー 40 枚、ピブス

(3) 展開

| 過程       | 学習活動                                   | ○教師の支援 ☆評価   |
|----------|--|--|
| 導入<br>5分 | ○集合、整列、挨拶、健康観察<br>○準備運動<br>○本時の学習内容を知る | ○健康状態を観察し、体調の悪い生徒については無理をさせないよう配慮する。<br>○本時の流れと課題を知らせ、見通しをもって学習できるようにする。 |

| 空いているスペースを攻撃（守備）しよう！ |   |  |
|----------------------|---|--|
| 展開<br>35分            | <p>○サッカー鬼ごっこ（攻）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼にタッチされないよう、ゴールに向かって走り抜ける。</li> </ul> <p>○陣取りゲーム（守）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チーム人数よりも多く設置された▲コーンを、鬼に奪われないようチームで守備する。</li> </ul> <p>○6ゴールゲーム</p>  | <p>○仲間との位置（攻撃者の位置）関係によって、守備者のポジショニングも変化することに着目させる。</p> <p>※作戦タイム（☆）</p> <p>○攻撃を受ける可能性の高い地域から優先的に守備ができるように、仲間と声を掛け合いながら行えるようにする。 ※作戦タイム（☆）</p> <p>○空いているゴール、守備者の少ないゴールをめざして攻撃できるようにする。</p> <p>○守備が偏らないようにポジショニングやコーチングをできるようにする。</p> <p>☆試合待ち時間に作戦タイム、学習カード記入</p> |
| 終末<br>10分            | <p>○片づけ、整列、整理運動</p> <p>○本時のまとめ</p> <p>○次時の連絡（次時への展望）</p>  | <p>○ケガや体調不良はないか確認する。</p> <p>○プレーしながら見ておくべきものは何かを確認する。</p> <p>○空いているスペースを攻撃することで守備者のバランスを崩すことができることを確認する。</p>   |

（４）本時の評価

| 観点               | 十分満足できると判断される生徒の具体例       | 概ね満足できると判断される生徒の具体例    | 支援を必要とする生徒への指導の手立て             |
|------------------|---------------------------|------------------------|--------------------------------|
| 運動についての<br>思考・判断 | ・攻守において適正な動きのポイントを見つけている。 | ・攻守において動きのポイントを見つけている。 | ・ホワイトボード等を活用して具体的なポイントを明らかにする。 |

7 本時の視点

- ・ねらいを達成するために、6ゴールサッカーは有効であったか。
- ・ねらいを達成するために、授業展開は有効であったか。